

有馬高原病院 B1 病棟、B3 病棟、C2 病棟にご入院中の患者様とご家族様へ 研究協力に関するお願い

今回、有馬高原病院と兵庫医療大学で協力し、精神科病院における褥瘡（床ずれ）発生の実態調査とその発生要因を明らかにする研究を行うことになりました。

精神科病院に入院されている患者様はお薬や心の状態で活動性が低下することがあり、褥瘡が発生しやすい場合があります。しかし、精神科病院における褥瘡の発生状況や発生要因に関する研究は少なく、統一された褥瘡の対策が不十分な状態です。また日本の高齢化に伴い、精神科病院に入院する高齢の方も増えているため、精神科病院における褥瘡対策は急務となっています。

今回この研究を行うことにより、精神科病院における褥瘡の発生状況と発生要因を明らかにすることができ、褥瘡対策について考えるための基礎データとなります。

【研究課題】

精神科病院における褥瘡発生の実態と発生要因に関する前向きコホート研究

【研究責任者】

兵庫医療大学 看護学部 宮前奈央

【調査期間】

2019年8月14日～2020年5月13日

1人の患者様の追跡調査期間は調査開始日より3か月間とする

【研究の対象となる方】

2019年8月14日にB1病棟、B3病棟、C2病棟に入院されているすべての患者様

2019年8月14日～2020年2月13日にB1病棟、B3病棟、C2病棟に入院されたすべての患者様

ただし、すでに褥瘡がある患者様は対象になりません

【研究の目的】

精神科病院における褥瘡発生状況と褥瘡発生の要因を明らかにすること

【研究の方法】

この研究は有馬高原病院倫理委員会と兵庫医療大学倫理委員会の承認を受けて実施します。

対象の患者様の入院中の診療録より年齢、性別、身長、体重、基礎疾患、褥瘡の既往、皮膚疾患の有無、内服している向精神薬の種類と量、栄養状態、日常生活動作の状況、骨突出の有無と部位、身体拘束の有無と種類、関節拘縮の有無と部位、オムツの使用状況、全身状態、体圧分散寝具の使用に関する情報を収集させていただきます。また、対象の患者様に褥瘡が発生した場合は褥瘡の状態に関する情報（褥瘡発生部位、サイズ、深さ、形状、色調）も診療録より収集させていただきます。

収集した情報を統計学的に解析し、褥瘡発生の実態とその要因について明らかにします。

【個人情報の取り扱い】

研究に使用する情報には個人情報が含まれますが、お名前など、個人を直ちに判別できる情報は使用せず、研究用の番号で管理します。また、研究用の番号と患者様の診察券番号を結び付ける対応表を研究責任者（宮前奈央）が作成し、研究協力の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。取得した情報は研究者間のみで利用し、外部に漏洩することがないように研究責任者（宮前奈央）が慎重に取り扱いをいたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を判別できるような情報は利用しません。研究協力を取り消された場合は、収集した情報をデータから削除いたします。

【研究協力による患者様への影響】

この研究を行うにあたり使用する情報は通常診療のなかで得られる情報であり、患者様に新たな検査をしていただくことや、費用をご負担いただくことはございません。また、本研究に協力することによる謝金はございません。

【研究協力について】

患者様またはご家族のかたからの研究協力の拒否はいつでも受け付けています。研究参加への協力を撤回したい場合や本研究に関してご不明な点がございましたら、以下の問い合わせ先へご連絡いただくか、もしくは病棟スタッフへお知らせください。研究協力を拒否することによる患者様への不利益は一切ありません。

【問い合わせ先】

兵庫医療大学 看護学部 基盤看護学分野
宮前 奈央
住所：神戸市中央区港島 1-3-6
電話：078-304-3160（研究室代表番号）
E-mail:n.miyamae@huhs.ac.jp

【研究者】

兵庫医療大学 看護学部 教授 土田敏恵
兵庫医療大学 看護学部 講師 立垣祐子

【研究分担者】

有馬高原病院 診療部長 牧野泰己
有馬高原病院 看護部長 山口玲子
有馬高原病院 看護師長 佐々木りさ
有馬高原病院 栄養科科長 清田加容子